

秋田県

精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築に向けた
平成29年度の目標とその達成状況

目標：研修会を通じ、支援者の資質向上を図り、各圏域の支援体制の充実・強化を目指す

【達成状況】

- ・ 県内3地区において、高次脳機能障害（6月～7月開催、参加者110名）、発達障害（9月～10月開催、参加者395名）など多様な精神疾患に対応するため、地域支援者への研修会を実施。
- ・ 相談支援従事者を対象に現任研修（8月開催、修了者60名）、指導者・ファシリテーター養成（9月開催、修了者7名）、初任者研修（9月と11月開催、修了者83名）を実施。

目標：圏域毎の地域移行・地域定着推進会議を通じ、ネットワークの強化、地域支援体制の整備を図る。

【達成状況】

- ・ 精神科医療圏域（5）毎に、精神障害者地域移行・地域定着推進会議を開催
地域移行に必要な体制整備についての検討
地域移行・地域定着支援を行った事例紹介 など

目標：地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の検討

【達成状況】

- ・ 医療保健福祉計画（精神疾患）及び障害福祉計画の中に、「精神障害者の地域包括ケアシステムの構築」に向けた取組を盛り込んでいる。
精神疾患医療連携体制等検討会 3回開催（9月～11月）
障がい者総合支援協議会 2回開催（11月、2月）

平成30年度取組方針

1. 多様な精神疾患に対応する地域包括ケアシステムの構築に向け、地域支援者の資質向上を図るための各種研修会を開催する。
2. 圏域毎の地域移行・地域定着推進会議を通じ、ネットワークの強化、地域の実情に応じた支援体制の整備を図る。
3. 各種審議会や協議会を活用した、「医療保健福祉計画」並びに「障害者福祉計画」の施策の進行管理を行う。